

2021年7月29日

株式会社日本政策金融公庫

第209回 信用保証利用企業動向調査結果の概要

(2021年4～6月期実績、7～9月期見通し)

〔概況〕 信用保証利用企業の資金繰りは、改善している。
～景況は、持ち直しの動きがみられるものの、厳しい状況が続いている～

- 【金融関連】○ 資金繰りD.I.は、▲19.1とマイナス幅が縮小した。
○ 借入難易感D.I.は、▲6.7と横ばいとなった。
○ 今期に借入を実施した企業の割合は、減少した。
- 【保証利用】○ 今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、大幅に減少した。
○ 来期(21年7～9月)における保証利用要請D.I.は、▲2.7とやや低下し、過去最低となった。
※ 保証利用要請D.I. …金融機関による保証利用要請が「強くなると思う」企業の割合－「弱くなると思う」企業の割合。
- 【生産等】○ 生産・売上D.I.は、▲30.0とマイナス幅が縮小した。
○ 採算D.I.は、▲30.1とマイナス幅が縮小した。

【特別調査】「新型コロナウイルス感染症の影響及び金融支援の利用状況等について」

- 新型コロナウイルス感染症による企業活動へのマイナスの影響については、「現在影響あり」と回答した企業は70.2%と、20年4～6月期以降7割前後で推移している。
- 資金繰り対策として、21年4～6月期に金融支援を「利用した」と回答した企業は25.7%と低下している。また、利用した金融支援をみると、「信用保証付き融資」が67.1%と最も高い。

＜調査の要領＞	調査時点	2021年6月中旬
	調査対象	9地域(北海道、宮城、東京、愛知、石川、大阪、広島、香川、福岡)の信用保証協会利用先 16,000企業を対象としており、 回答企業の約81%が従業員20人以下の小規模企業 となっています。
	有効回答企業数	5,721企業
	回答率	35.8%

＜お問い合わせ先＞

日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 Tel:03-3270-2384(担当:城所、新井田、今泉)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティノースタワー

資料編につきましては[こちら](#)をご覧ください。

(1) 資金繰り

・資金繰りD.I.は、▲19.1とマイナス幅が縮小した。
来期の見通しについては、▲17.2となっている。

		2020/4-6	7-9	10-12	2021/1-3	4-6	7-9
資金繰りD.I.	実績	▲52.6	▲28.3	▲27.3	▲24.6	▲19.1	
	見通し	▲27.1	▲36.9	▲29.4	▲28.8	▲19.7	▲17.2

(注) 前期比。資金繰りD.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

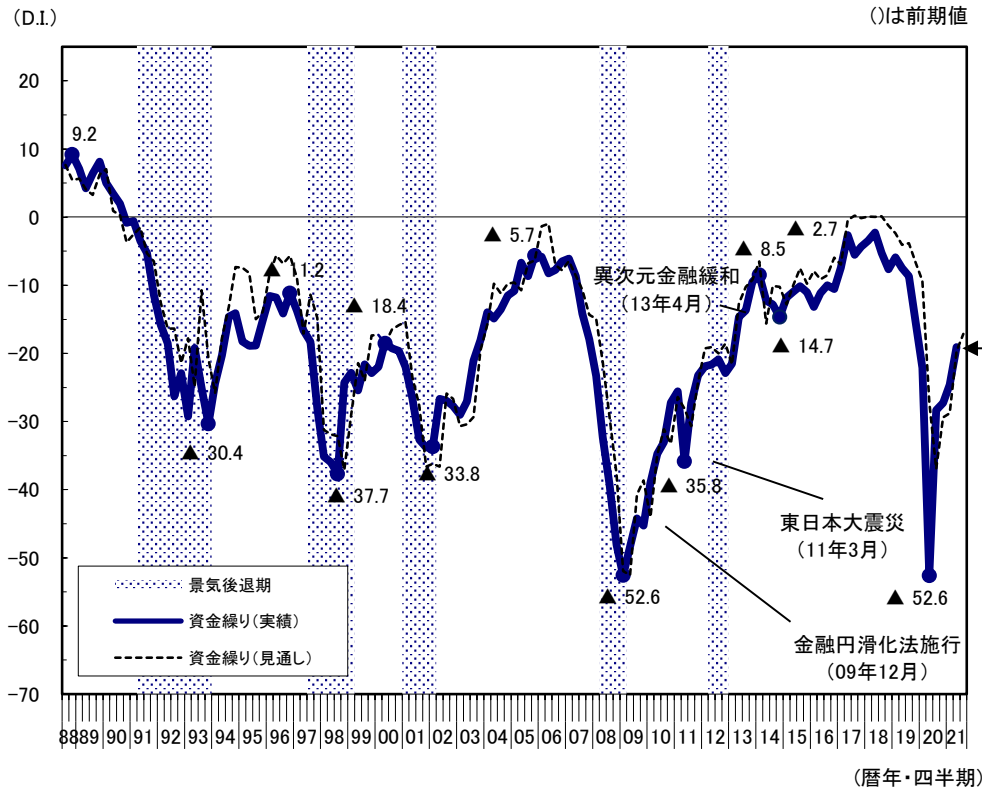
(2) 借入難易感

・借入難易感D.I.は、▲6.7と横ばいとなった。
来期の見通しについては、▲15.4となっている。

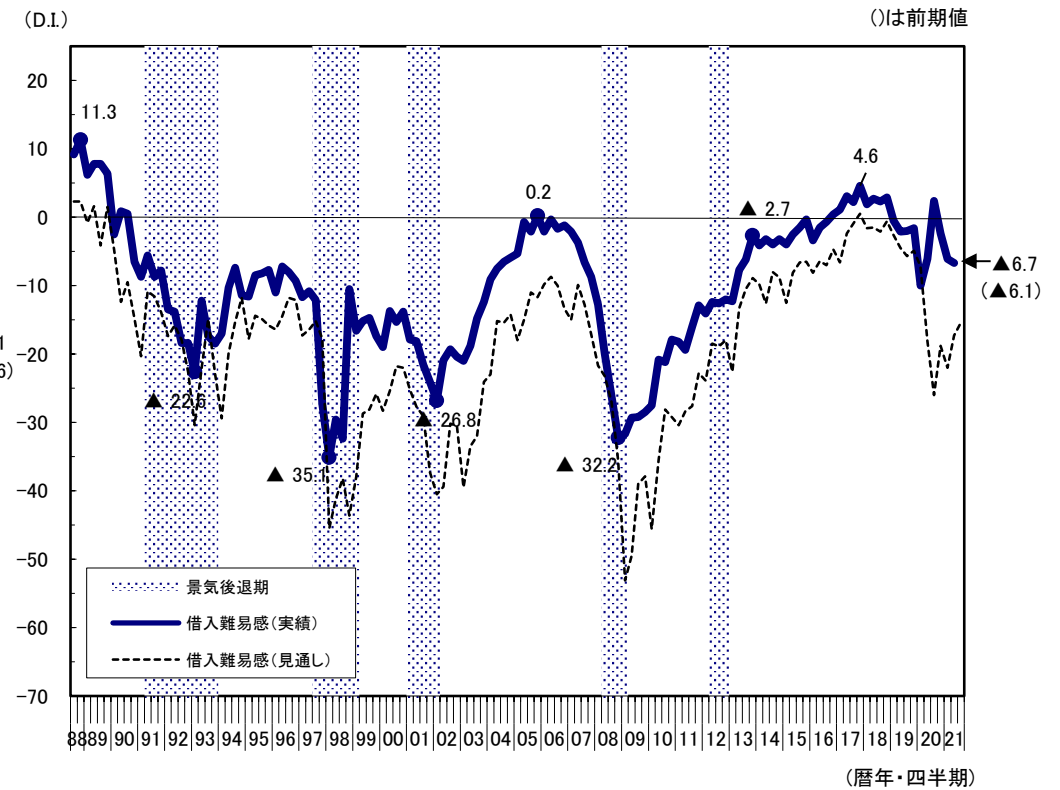
		2020/4-6	7-9	10-12	2021/1-3	4-6	7-9
借入難易感D.I.	実績	▲6.1	2.4	▲2.4	▲6.1	▲6.7	
	見通し	▲18.1	▲26.0	▲18.8	▲22.0	▲17.3	▲15.4

(注) 前期比。借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

資金繰りD.I.(季節調整値)の推移



借入難易感D.I.の推移



(3) 借入状況

・今期に借入を実施した企業の割合は、減少した。

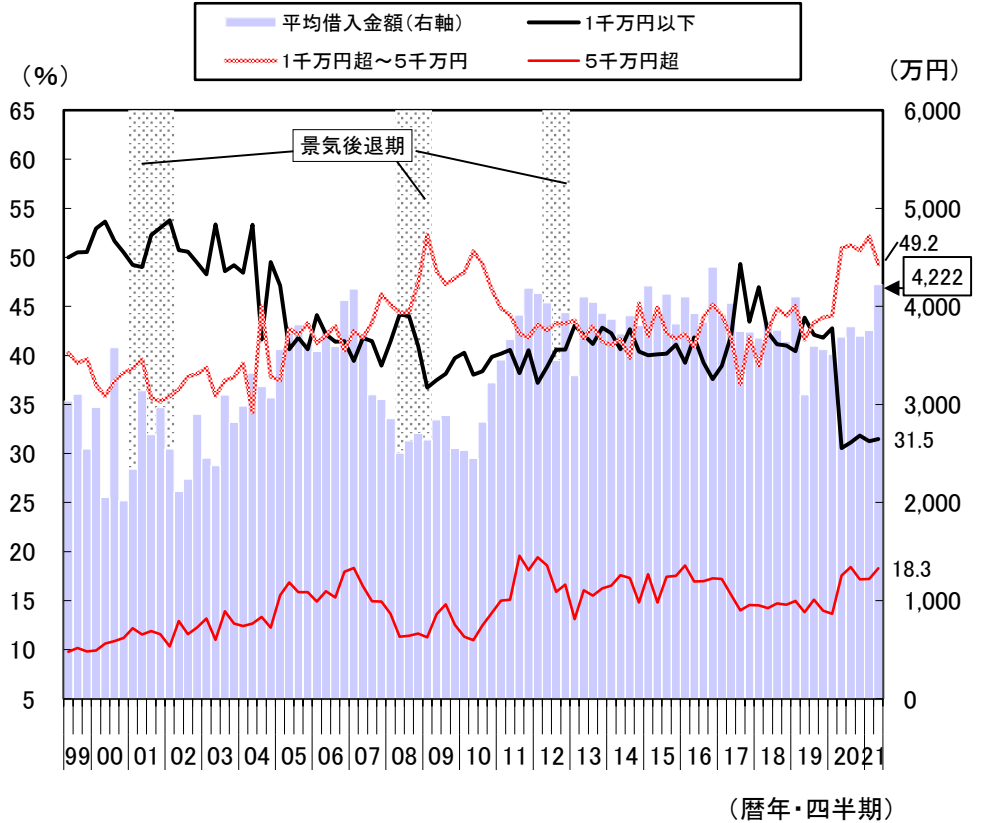
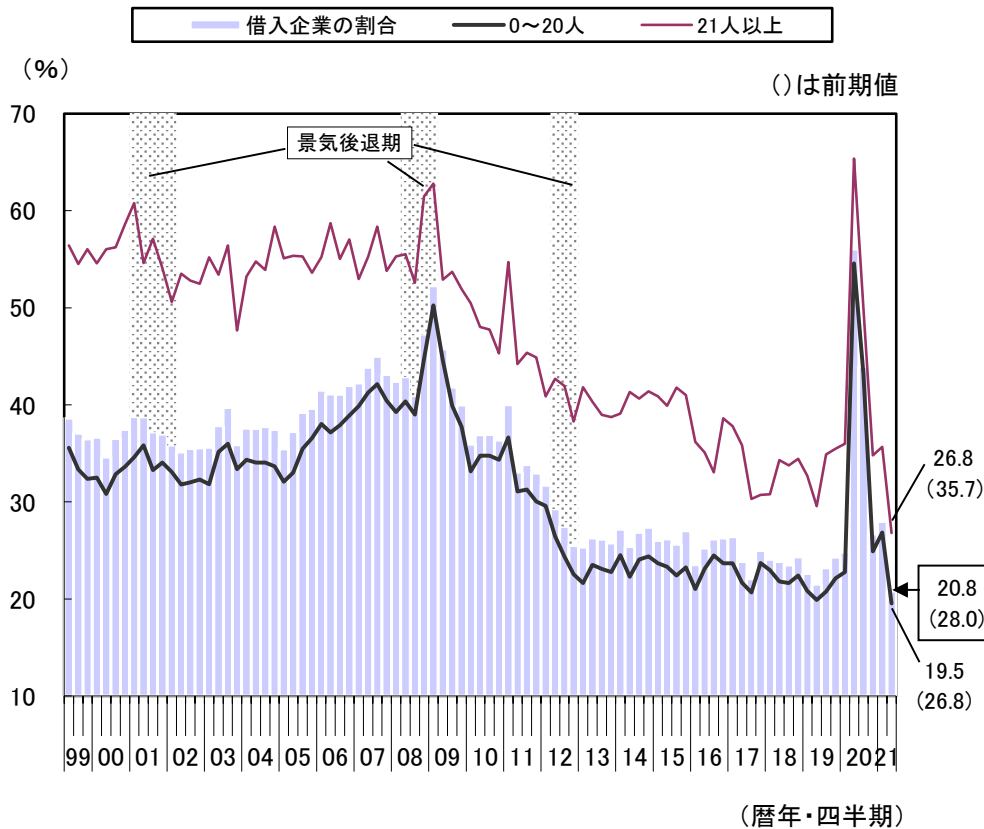
・一社あたりの借入金額別構成比は、「1千万円超～5千万円」がやや減少した一方で、「5千万円超」がやや増加した。

① 借入を実施した企業の割合(季節調整値)

	2020/4-6	7-9	10-12	2021/1-3	4-6
借入企業の割合	56.0	43.9	26.7	28.0	20.8
0-20人	54.6	43.2	24.9	26.8	19.5
21人以上	65.4	49.9	34.8	35.7	26.8

② 一社あたりの借入金額別構成比(季節調整値)

	2020/4-6	7-9	10-12	2021/1-3	4-6
1千万円以下	30.6	31.1	31.8	31.3	31.5
1千万円超～5千万円	50.9	51.2	50.7	52.1	49.2
5千万円超	17.6	18.4	17.2	17.2	18.3



(注)「借入」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計したものである。

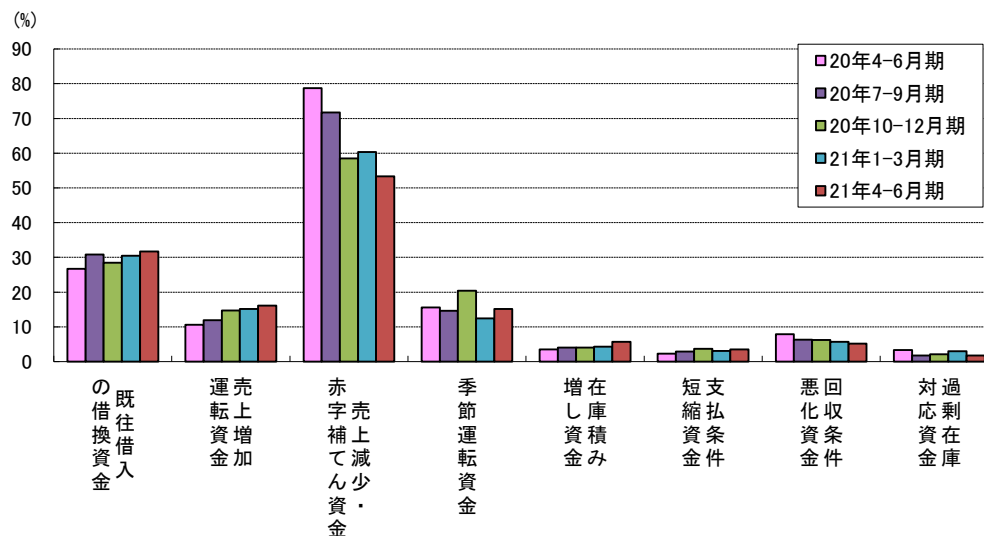
- ・資金使途については、運転資金が引き続き90%超となっている。
- ・運転資金の内訳では、「売上減少・赤字補てん資金」の割合が引き続き高い水準となっている。

③-1 資金使途の構成

	運転資金	運転・設備資金	設備資金
21年4-6月期	90.4	8.8	5.7
21年1-3月期	90.9	8.4	4.7
20年10-12月期	90.7	4.9	4.4
20年7-9月期	94.2	4.0	1.8
20年4-6月期	95.2	3.6	1.1
20年1-3月期	86.0	4.3	9.7
19年10-12月期	84.5	5.8	9.7
19年7-9月期	83.4	5.2	11.5
19年4-6月期	83.9	5.3	10.8
19年1-3月期	86.8	4.5	8.7
18年10-12月期	86.0	4.7	9.3
18年7-9月期	84.8	4.9	10.4
18年4-6月期	83.4	5.5	11.1
18年1-3月期	83.9	5.4	10.7
17年10-12月期	83.7	6.4	9.9
17年7-9月期	80.8	6.5	12.6
17年4-6月期	80.7	8.6	10.7
17年1-3月期	86.6	4.1	9.3
16年10-12月期	87.0	5.3	7.6
16年7-9月期	86.2	5.1	8.8
16年4-6月期	85.9	4.9	9.2
16年1-3月期	85.8	5.5	8.8
15年10-12月期	86.7	8.8	9.5
15年7-9月期	84.3	5.1	10.6
15年4-6月期	88.8	8.2	8.1
15年1-3月期	88.5	4.1	7.4
14年10-12月期	89.3	8.5	7.3
14年7-9月期	88.1	4.1	7.8
14年4-6月期	87.9	8.6	8.5
14年1-3月期	84.3	15.2	10.6
13年10-12月期	87.0	4.3	8.7
13年7-9月期	87.9	5.1	7.0
13年4-6月期	88.1	8.8	8.1
13年1-3月期	89.8	8.8	6.3
12年10-12月期	90.3	4.0	5.7
12年7-9月期	90.1	8.6	6.3
12年4-6月期	87.4	16.0	6.6

③-2 運転資金の内訳

(原数値)	既往借入 の借換資金	売上増加 運転資金	売上減少・ 赤字補てん資金	季節運転資金	在庫積み 増し資金	支払条件 短縮資金	回収条件 悪化資金	過剰在庫 対応資金	
21年	4-6月期	31.7	16.1	53.3	15.2	5.7	3.5	5.2	1.8
	1-3月期	30.5	15.2	60.3	12.4	4.3	3.1	5.7	3.0
20年	10-12月期	28.5	14.7	58.5	20.4	4.0	3.7	6.2	2.1
	7-9月期	30.8	11.9	71.7	14.6	4.0	2.9	6.3	1.8
	4-6月期	26.7	10.6	78.7	15.6	3.5	2.3	7.9	3.3



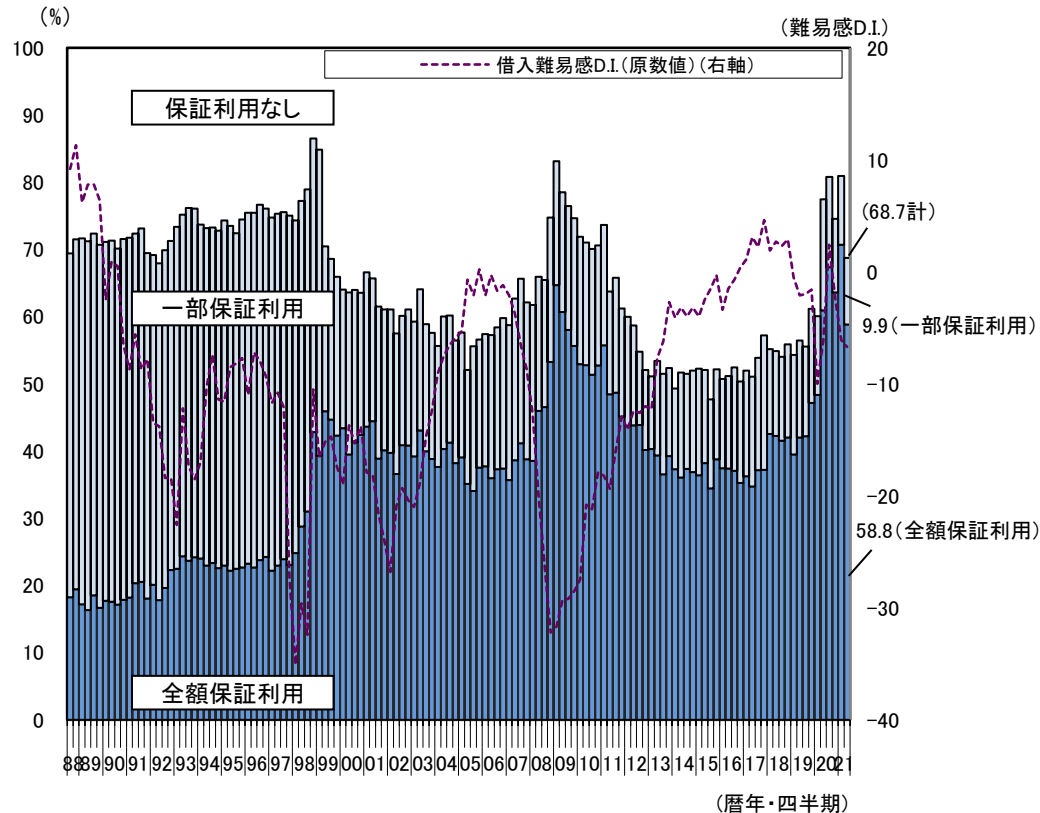
(注) 1.複数回答のため、合計は100を超える。
2.「資金使途」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計した借入金に係るものである。

(4) - 1 保証利用状況

・今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、大幅に減少した。保証利用割合別にみると、「全額利用」が大幅に減少した。

	2020/4-6	7-9	10-12	2021/1-3	4-6
保証利用企業の割合	77.5	80.8	74.5	80.9	68.7
全額利用	60.9	67.4	63.6	70.7	58.8
一部利用	16.5	13.4	10.9	10.2	9.9
保証利用がない企業の割合	22.5	19.2	25.5	19.1	31.3

借入企業に対する保証利用企業の割合(季節調整値)



(注)当該四半期中に新規借入を行った企業数について、「保証利用なし」、「保証付きの借入のみ(全額保証利用)」、「保証付きの借入と保証を利用しない借入を併用(一部保証利用)」の区分で集計したものの。

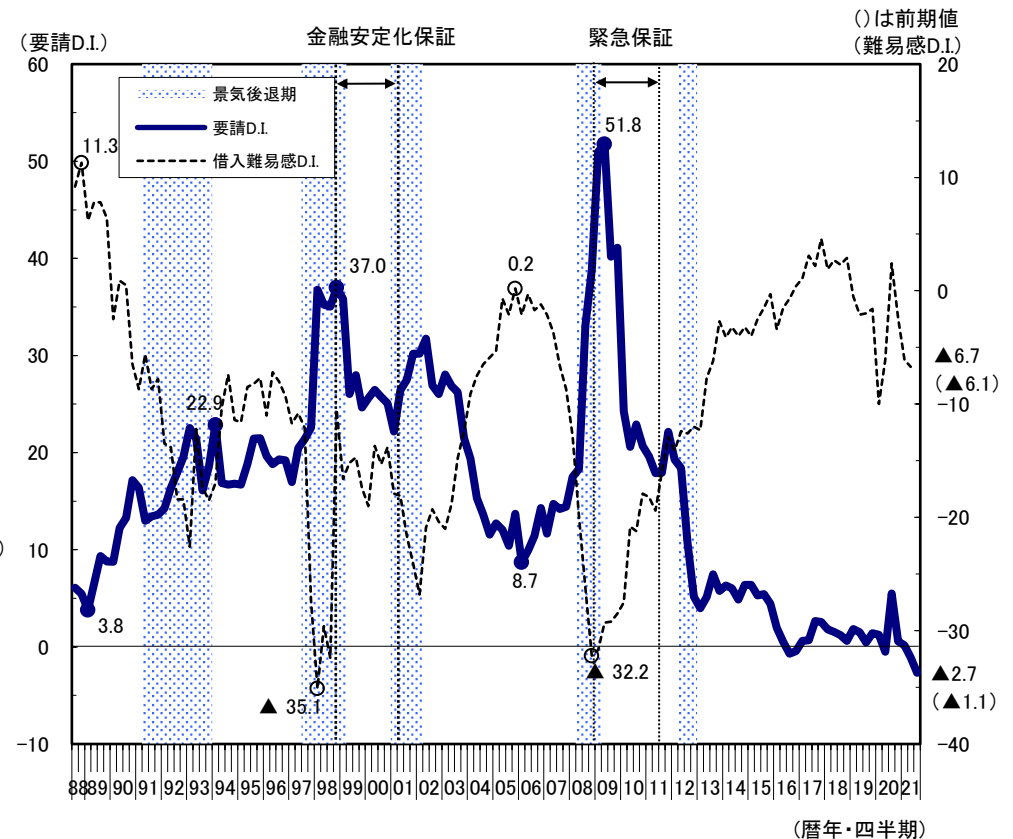
(4) - 2 金融機関からの保証利用要請

・来期(21年7~9月)における保証利用要請D.I.は、▲2.7とやや低下し、過去最低となった。

	2020/4-6	7-9	10-12	2021/1-3	4-6	7-9
要請D.I. 見通し	▲0.5	5.5	0.6	0.2	▲1.1	▲2.7
借入難易感D.I. 実績	▲6.1	2.4	▲2.4	▲6.1	▲6.7	

(注) 1.前期比。要請D.I.は、「強くなると思う」企業の割合-「弱くなると思う」企業の割合。季節調整値。
2.借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

金融機関からの要請D.I.(季節調整値)及び借入難易感D.I.の推移



(5) 生産・売上

・生産・売上D.I.は、▲30.0とマイナス幅が縮小した。
来期の見通しについては、▲10.2となっている。

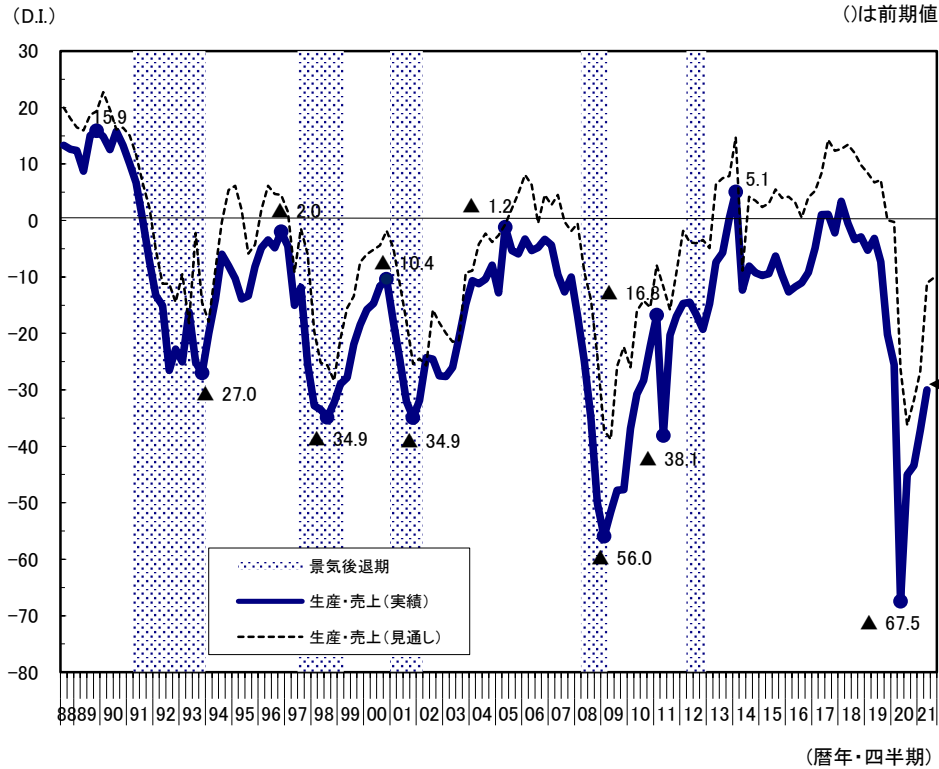
		2020/4-6	7-9	10-12	2021/1-3	4-6	7-9
生産・売上D.I.	実績	▲67.5	▲45.1	▲43.4	▲37.2	▲30.0	
	見通し	▲26.3	▲36.3	▲31.8	▲26.7	▲11.1	▲10.2

(注) 前期比。生産・売上D.I.は、「増加」企業の割合-「減少」企業の割合。季節調整値。

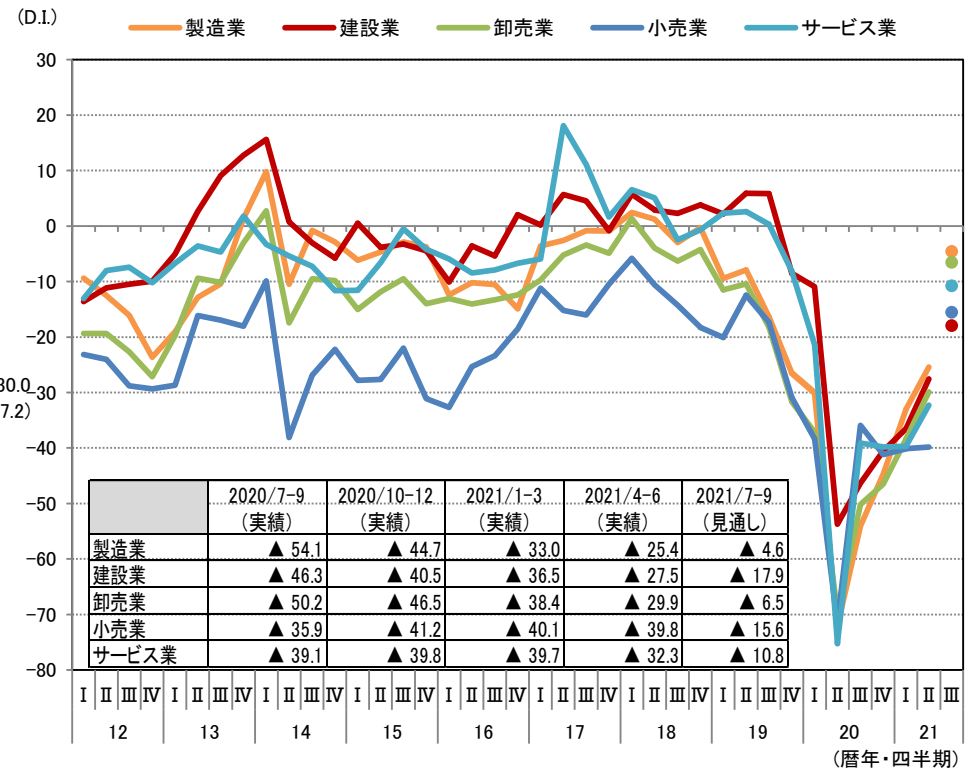
生産・売上（業種別）

・生産・売上D.I.(業種別)は、小売業を除いた4業種でマイナス幅が縮小した。

生産・売上D.I.(季節調整値)の推移



業種別生産・売上D.I.(季節調整値)の推移



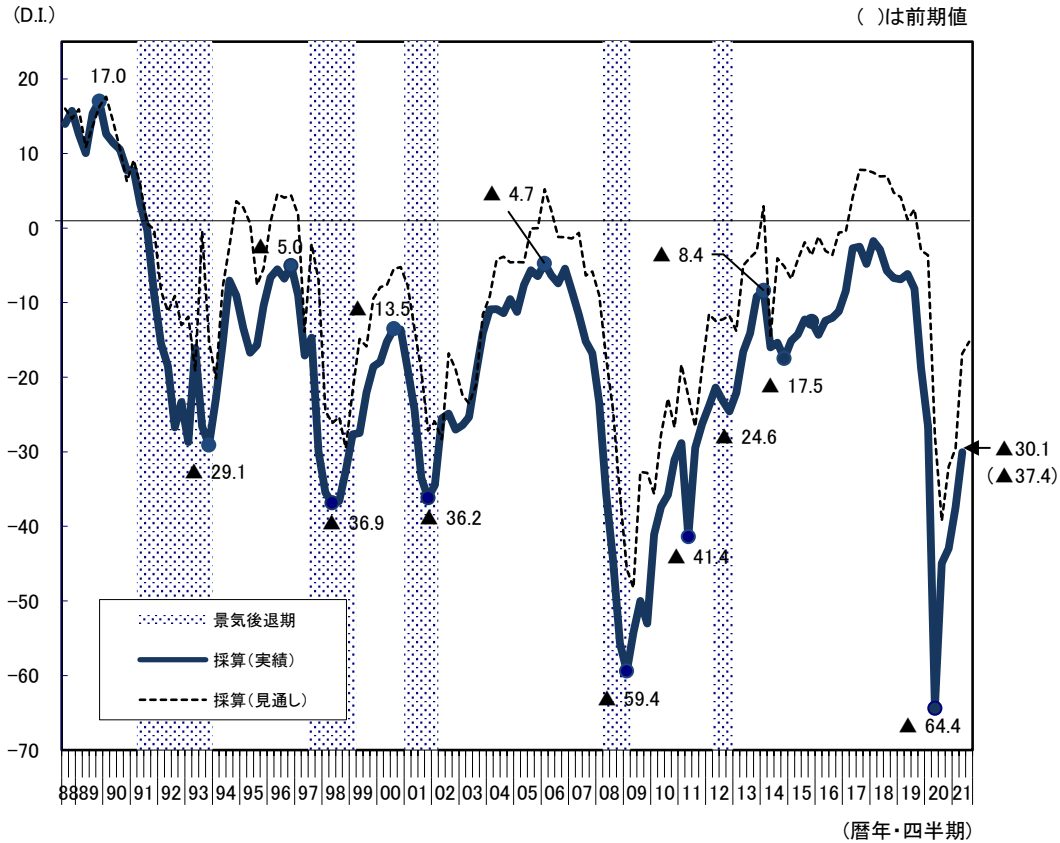
(6) 採算

- ・採算D.I.は、▲30.1とマイナス幅が縮小した。
来期の見通しは、▲15.2となっている。

		2020/4-6	7-9	10-12	2021/1-3	4-6	7-9
採算D.I.	実績	▲64.4	▲44.9	▲43.0	▲37.4	▲30.1	
	見通し	▲27.7	▲39.3	▲32.0	▲29.6	▲16.8	▲15.2

(注) 前期比。採算D.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

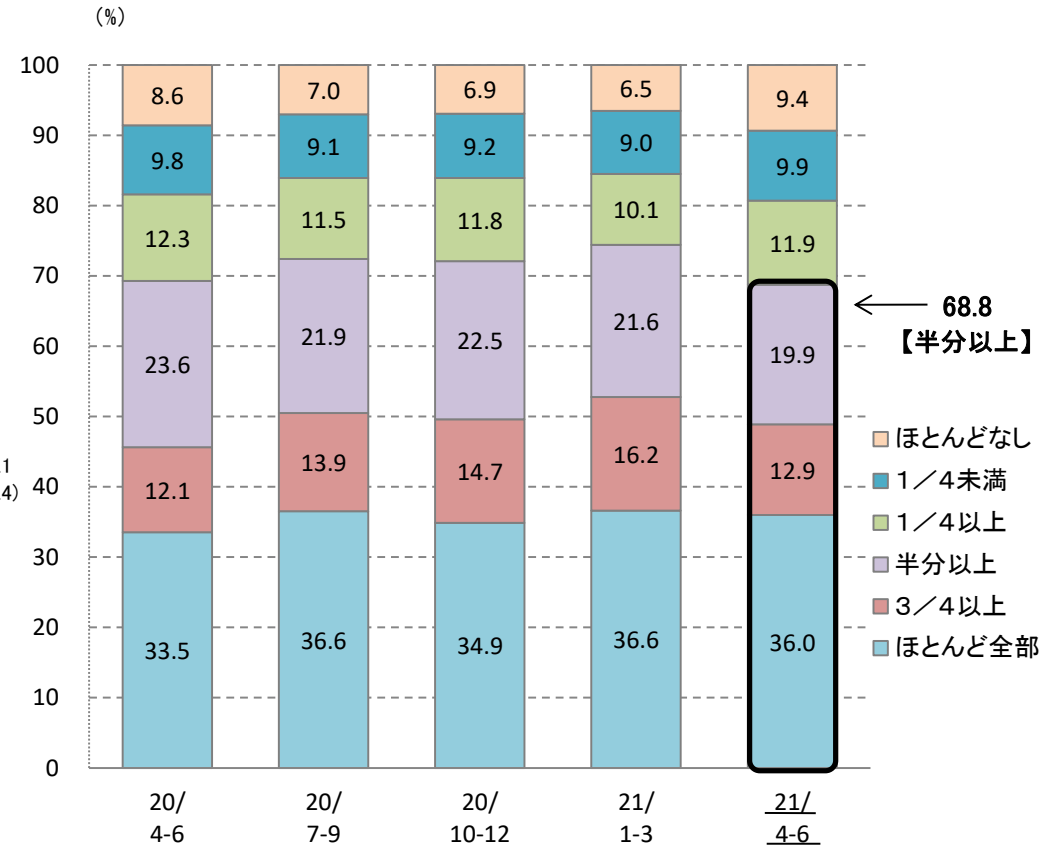
採算D.I.(季節調整値)の推移



(参考) 保証利用割合

- ・借入総残高に占める信用保証利用の割合については、半分以上と回答した企業が68.8%であった。

保証利用割合の推移



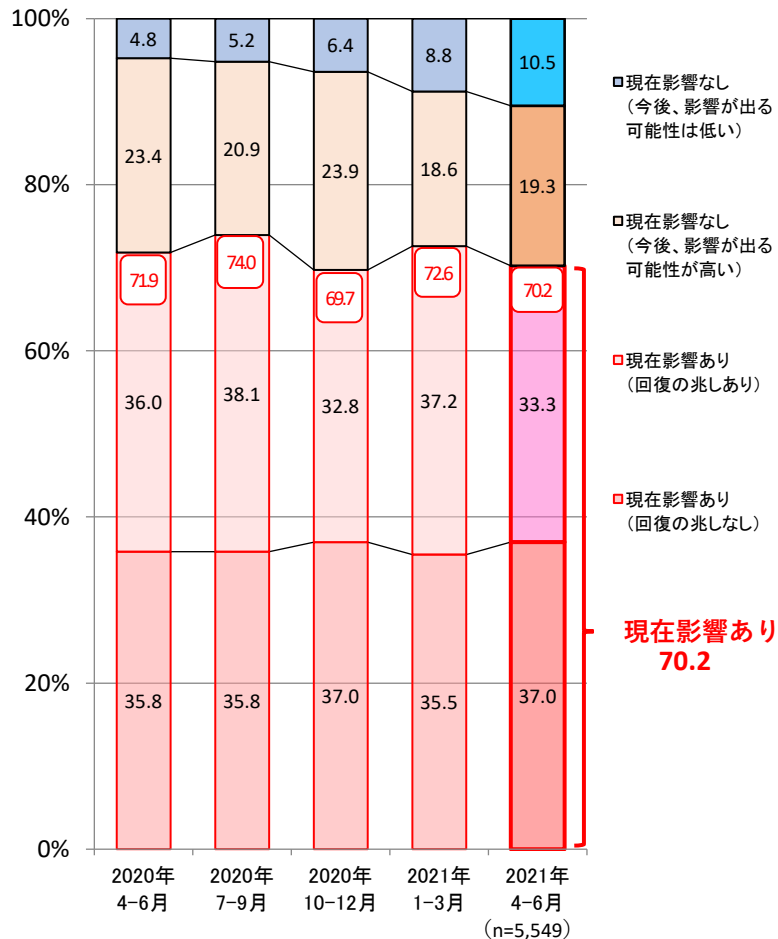
特別調査

新型コロナウイルス感染症の影響及び金融支援の利用状況等について

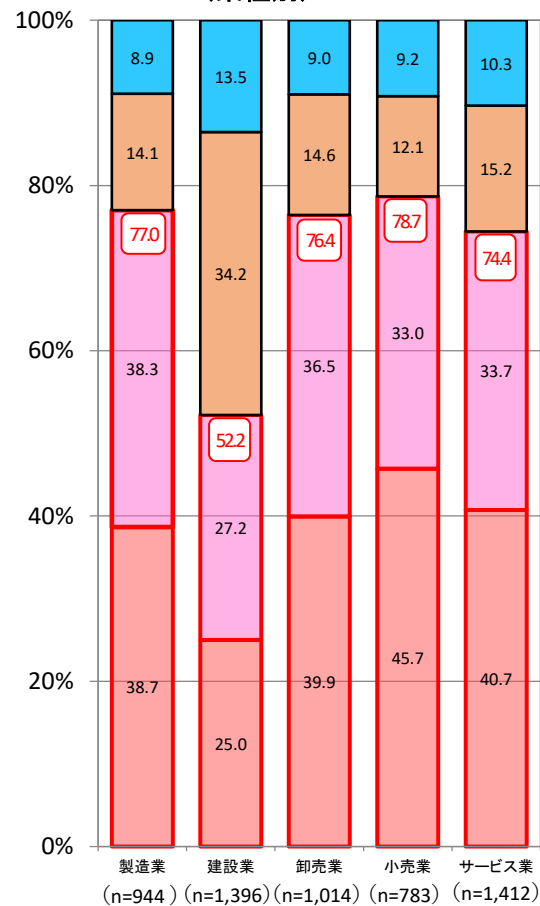
1. 新型コロナウイルス感染症の影響について

- ・新型コロナウイルス感染症による企業活動へのマイナスの影響については、「現在影響あり」と回答した企業は70.2%と、20年4～6月期以降7割前後で推移している。
- ・業種別にみると、建設業は「現在影響あり」が52.2%と他業種と比べて低い割合となっている。
- ・従業員規模別にみると、従業員規模が小さな企業ほど「回復の兆しなし」の割合が高くなっている。

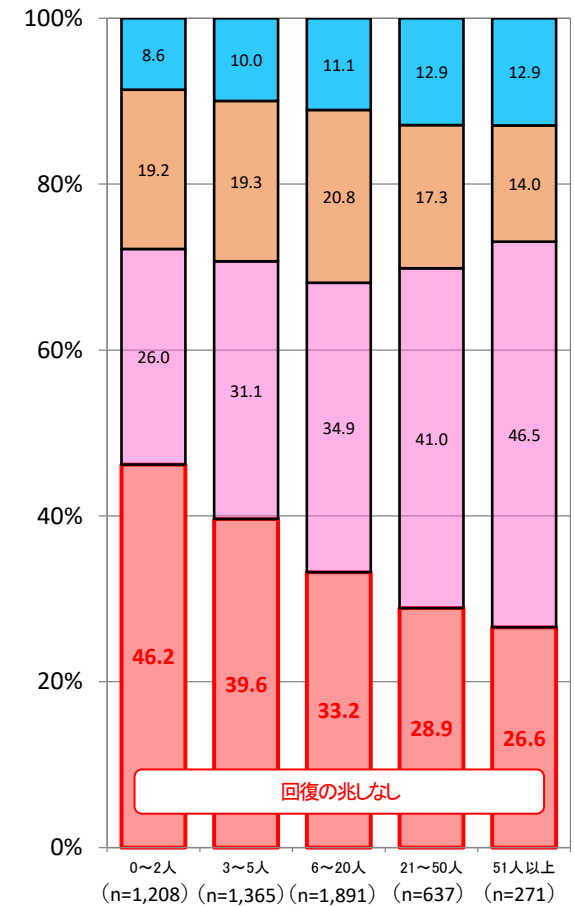
(1) 企業活動へのマイナスの影響



(2) 企業活動へのマイナスの影響 (業種別)



(3) 企業活動へのマイナスの影響 (従業員規模別)



(注) 従業員規模が不明な先を除く

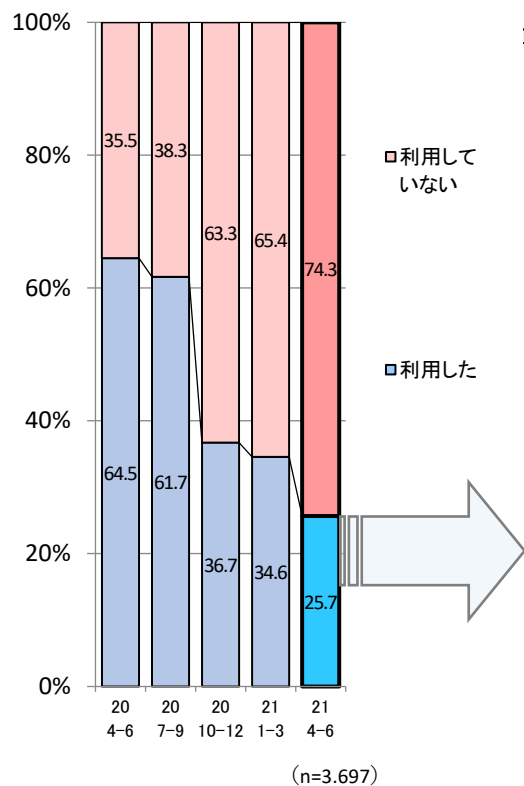
特別調査

新型コロナウイルス感染症の影響及び金融支援の利用状況等について

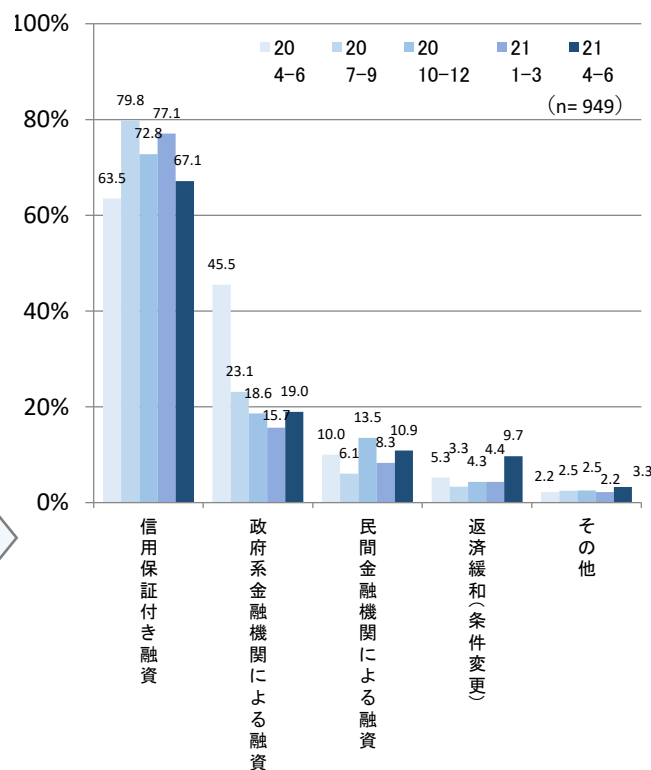
2. 金融支援の利用状況について

- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う資金繰り対策として、21年4～6月に金融支援を「利用した」と回答した企業は25.7%と低下している。また、利用した金融支援をみると、「信用保証付き融資」が67.1%と最も高い。
- ・金融支援を利用した理由については、「既存の取引先への支払・返済など取引継続のため」が最も多く、次いで「人件費支払など従業員の雇用維持のため」が続いており、回答割合は、いずれも5割を超えている。

(1) 金融支援の利用状況



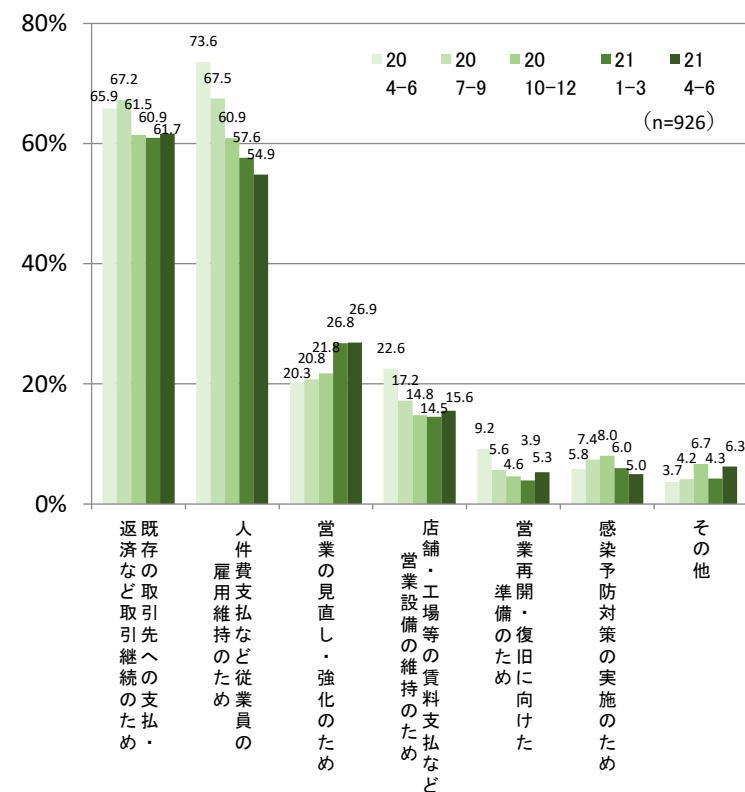
(注) 20/4-6は、20/3における金融支援の利用を含む
(本頁における他のグラフ内の「20/4-6」も同じ)。



(注1) 複数回答のため、合計は100%を超える。

(注2) 信用保証付き融資や政府系金融機関による融資には、当該融資を利用する前提で利用された民間金融機関のつなぎ融資を含む。

(2) 金融支援を利用した理由

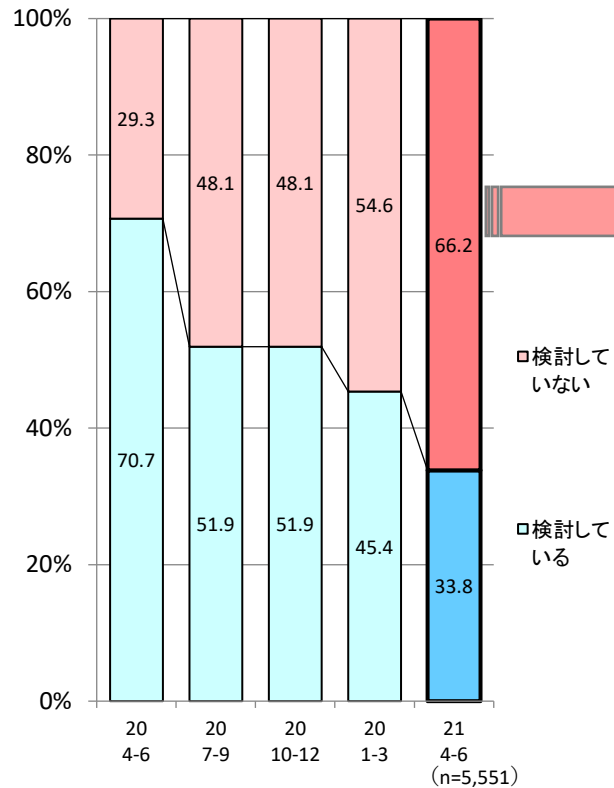


(注) 複数回答のため、合計は100%を超える。

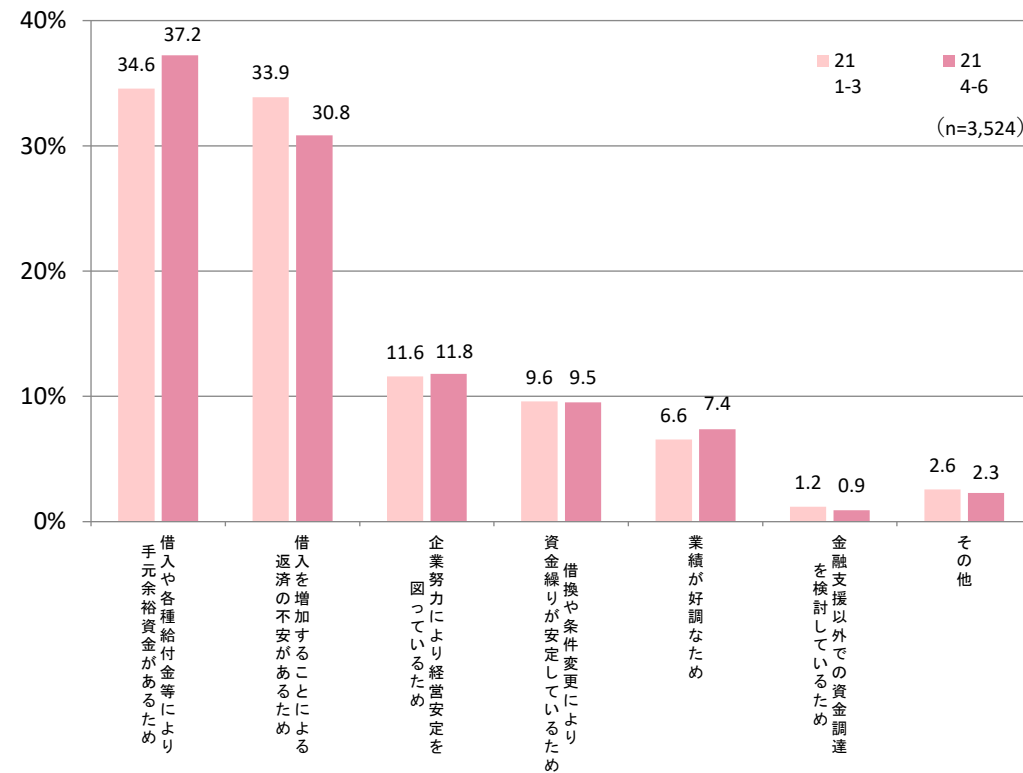
3. 今後の金融支援の利用に係る検討状況について

- ・今後の金融支援の利用に係る検討状況については、「検討していない」と回答した企業が66.2%と6割を超えた。
- ・「検討していない」と回答した企業の主な理由としては、「借入や各種給付金等により手元余裕資金があるため」、「借入を増加することによる返済の不安があるため」がいずれも3割を超えている。

(1) 今後の金融支援の利用に係る検討状況



(2) 金融支援の利用を検討していない主な理由



特別調査

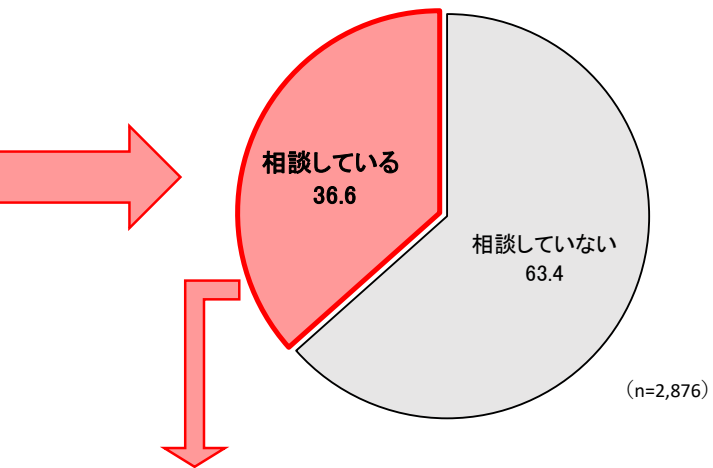
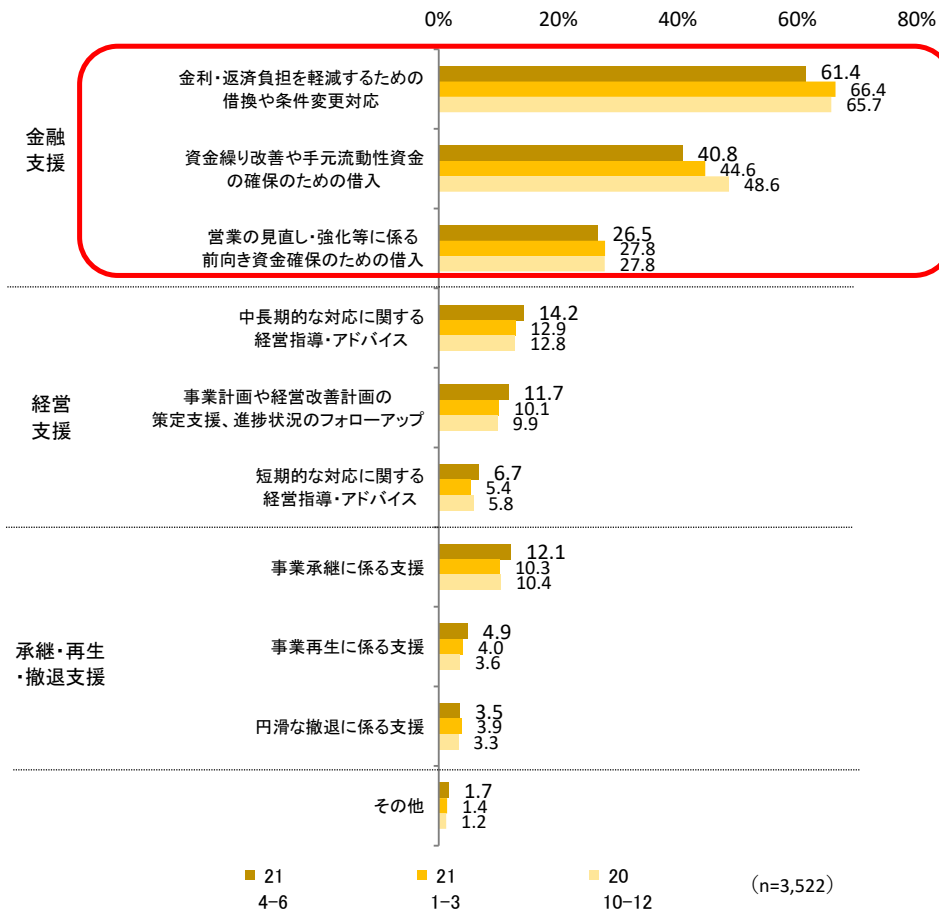
新型コロナウイルス感染症の影響及び金融支援の利用状況等について

4. 今後必要とする各種支援等について

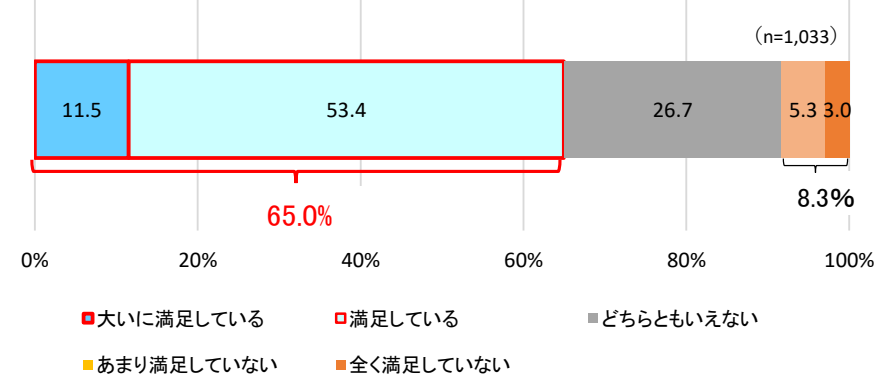
- ・今後、必要とする各種支援については、「金利・返済負担を軽減するための借換や条件変更対応」が6割を超えている。
- ・金融支援を必要としている企業について、金融機関への相談状況を見ると、相談している企業の割合は36.6%と3分の1程度であるものの、金融機関へ相談している企業においては、「大いに満足している」と「満足している」を合わせると65.0%となっており、満足度は高い。

(1) 今後必要とする各種支援について

(2) 金融支援に関する相談について



(3) 相談先金融機関の対応への満足度について



(注)複数回答のため、合計は100%を超える。